

教会学校 教案ガイド

教師メモやメッセージアウトラインを読む前に必ずディボーションをしましょう。

1. みことば

祈りながら今週のテキスト(聖書箇所)を何度も繰り返し読んでください。また、今週の暗唱聖句を決定して、覚えましょう。

2. 主題の読み取り

今週のみことばの中心テーマを自分のコトバで、1つの文章にまとめて書きあらわしましょう。

例 ○: イエスさまは、弟子たちがイエスさまを救い主と信じるようにカナで奇跡を行いました。(×: カナの婚礼と奇跡)

3. 教えられたこと

今週のみことばを通して、神さまがあなたに語ってくださったことを書きあらわしましょう。

4. メッセージの作成

◇「教師ノート」と「メッセージアウトライン」を参考にしてください。

◇注意深く聖霊さまの導きに従いましょう。

教会教育部公式サイト <http://ce.ag-j.or.jp/>

教会の働きのためにご自由にお使いください。営利目的での使用は禁じます。すべての内容の著作権は、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団教会教育部にあります。

教師ノート

日付	2012年 1月 1日
単元	ヨハネの福音書・2
テーマ	神の栄光が現れる時
タイトル	ラザロのよみがえり
テキスト	ヨハネ 11:1-46
参照箇所	
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	ヨハネ 11:40
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	

□導入

みなさんは、お葬式に行った事がありますか？ 葬式は、死んでしまった人のために最後に家族や友だちが見送る儀式です。死んでしまったらもう会う事ができません。その人が親しければ親しいほど、悲しくなります。イエス様にも親しくしていた友だちがいました。よく家に行ってお話をしていたのですが…

□ポイント1 ラザロが病気との知らせが来ました。(:3)

ある日、イエス様のところにイエス様と親しくしているラザロが病気だと知らせが来ました。イエス様は病気で聞いてもすぐにラザロの家に行きませんでした。それから二日もたってから、やっとラザロの家に行こうとされたのです。イエス様は、ラザロが死んでいる事を知っておられました。弟子たちには理解出来なかったのですが、イエス様は、はっきりとラザロが死んだ事を知っておられたのです。

* 私たちには、まだわからない事でもイエス様には何でもわかっておられるのです。

□ポイント2 ラザロは、もう死んでいました。

イエス様が、ベタニヤに着かれた時には、ラザロは死んでから四日も経っていました。もちろんラザロはお墓の中にいました。お姉さんのマルタは、来られるのが遅かったと、イエス様を責めました。もっと早く、生きているうちに来て下されば、死なずに済んだと思っていたのです。でも、イエス様はマルタに「わたしはよみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。」とおっしゃいました。マルタは、「それはまだまだ先の事で、いまのことではない」と思っていたので、イエス様がおっしゃる本当の意味を理解する事ができませんでした。だって、ラザロは死んでしまったのですから、どうにもならないとマルタは思っていたのです。

マルタもマリヤも、お弟子さんも、そしてそこにいた人たちも、イエス様がこれからなさることは、想像も出来ませんでした。

□ポイント3 ラザロは生き返りました!

マリヤや人々が泣いていました。そしてイエス様もその姿を見て、心からの悲しみで涙が溢れたのです。それを見た人たちは、イエス様は愛していたラザロを死なせずにおくことはできなかったんだと言い始めました。イエス様は、お墓の石をどけるように言われました。マルタがあわてて、「死んでから四日も経っているのに、もう臭くなっています」とイエス様に言いました。(日本では火葬なので、理解出来ない子どもがいるかもしれませんので、子ども達が理解出来るように説明して下さい。)

イエス様の言われた通りに石が取りのけられました。そして…(教師が大きく深呼吸して、子ども達の顔を見て少し時間をおいてから)「ラザロよ、出て来なさい!」(大声で!)と言われたのです。周りで見ていた人は、ビックリしたでしょうね。あまりの悲しみで、頭がおかしくなったと思った人もいたでしょう。ところが…な

んとラザロは、布をグルグル巻きにされたままお墓から出て来たのです!!ラザロは生き返ったのです!

□結論 神様の力が現れたのです。 暗唱聖句を読み上げます

イエス様は、神様の力を持っておられます。イエス様は、いのちも与える事のできる神様なのです。

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

イエス様は、ラザロと同じように私たちを愛して下さっています。イエス様を信じる人々のために、時々私たちがビックリするような方法で解決して下さるのです。でも、大切な事は、「あなたが信じる」ことです。私たちに必要なのは「イエス様は、何でも出来る方です!」と信じる信仰です。声に出して言ってみましょう(子供達に言わせて下さい)。でも、いまあなたが抱えている問題は、あなたにとっては、無理だと思えることかもしれません。イエス様はどんな方ですか?イエス様はラザロをよみがえらせる事が出来る力を持っているかたなのです!「もしあなたが信じるなら、あなたは神の栄光を見る」のです。

イエス様が、あなたの抱えている問題を解決して下さるように祈りましょう。

(みんなの前では言えない事もあると思うので、個人的に教師に話すように促してください。教師は、子ども達が、神様の栄光をみる事ができるように一緒に祈り、またその子の問題が解決するまで祈り続けて下さい。)

◎「もし～だったなら」という思いを持っていませんか?(32)

「もしあの時、イエス様がこうしてくれたら、こんなことにならなかったのに」と思っていることはありませんか?そういうような重い気持ちものを持ち続けていることは、しんどいなあと思います。イエス様はその気持ちを取り除いて下さり、「神様って素晴らしいなあ」と言える神様の栄光を私たちにを見せてくれます。

☞話し合ってみよう

◎「神様の栄光」って何だろう?(4、40)

栄光とは、分かりやすい言葉で言うと「神様の素晴らしさ」です。いろんなことがあっても、イエス様を信じ信頼し続けていくなら、「神様って何て素晴らしいんだろうか!」ということも私たちも見せていただけます。

◎ どうしてイエス様は涙を流されたのでしょうか?(35)

教 師 ノ ー ト

日付	2012年 1月 8日
単元	ヨハネの福音書・2
テーマ	互いに愛し合う
タイトル	足を洗われたイエス様
テキスト	ヨハネ 13章
参照箇所	
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	ヨハネ 13:34
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	

□導入 興味を起こす質問をしましょう。

今日は、イエス様が弟子たちの足を洗われたことを学びます。そこで、先生が今からみんなの足を洗いたいと思います(隠していた洗面器を取り出して!)。そしてその後でみんなに先生の足を洗ってもらおうと思います。(みんなの反応を伺いながら)時間が足りなくなると思うので実際には洗いませんが、もし本当に先生の足を洗うことになったら、どんな風に思う?またみんなの足が洗われることになったらどう思う?(導入ではなく、結論の前にこれを話すのも良いでしょう)

□ポイント1 イエス様は、弟子たちの足を洗われました(1、4-5)

イエス様は十字架にかかれるその最後の最後まで、弟子たちを愛されました。何と先生であるイエス様がたらいに水を入れ、弟子たちの足を洗い、手ぬぐいで足をふかれ始めたのです。それは弟子たちを愛していることを示すためでした。

☆考えてみよう

問: どうして弟子たちの足を洗うことが、弟子たちを愛していることになるのでしょうか?

考えるヒント: 人の足を洗うことは、当時、奴隷や召し使いがすることでした。

□ポイント2 イエス様は、裏切ろうとしているユダの足も洗いました(2、11、21)

イエス様は、ユダが裏切ろうとしていることを知っていました。それでもイエス様は、ユダを含めた弟子たち全員の足を洗われたのです。イエス様は、裏切ろうとしているユダのことも愛していたのです。

☆考えてみよう

問: 私たちは、自分のことを悪く言う人やだます人に対して、嫌な思いになります。それは当然のことだろうと思います。「自分に意地悪をしてくるあの人のことが大好き!」って、どう考えてもおかしいと思います。でもイエス様は自分を裏切るユダの足をも洗われました。イエス様はおかしい人だったのでしょうか? どうしてイエス様はユダの足を洗われたのでしょうか?

考えるヒント: イエス様はユダを愛していました。イエス様は、罪を赦し救うために十字架にかかるので、裏切るユダもやがて罪を悔い改めることを願っていたのではないのでしょうか?

□ポイント3 イエス様は、互いに愛し合うことを教えました(14-15、34-35)

イエス様が弟子たちの足を洗われた理由は、いつも誰が一番偉いとか言い争っていた弟子たちに愛し合うことを教えるためでした。イエス様は新しい戒めとして、互いに愛し合うことを教えてくれました。そしてイエス様の弟子である証拠は、互いに愛し合っていることだと分かると言われました。もし私たちが愛し合っていないなら、イエス様の弟子ではないということになります。イエス様を信じてイエス様の弟子である私たちが大切にすることは、イエス様が愛して下さったように私たちも互いに愛し合うことです。

□結論 イエス様が愛して下さったように、私たちも互いに愛し合しましょう。

暗唱聖句を読み上げます

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

☆子どもたちの状態を見ながら、1か2のように適用を展開しても良いでしょう。

1. 互いに愛し合うってどんなことだろう？

教会学校、家庭、学校、友だち…具体的にあげてみる

2. 愛せなかつたり赦せなかつたりする人がいるなら、今日、イエス様の愛をいただく。

イエス様は、あなたが傷ついていること、そしてどちらかと言えば相手の方が悪くてあなたが被害者だということを知っています。自分を裏切ったり、意地悪をするような人を赦して愛していくって、なかなか出来ないよね～。簡単じゃないよね。「絶対ゆるしてやるもんか」って思うよね。イエス様も裏切られたことがあるから、よーく気持ちが分かると思うよ。イエス様は今、そんな私たちの前にひざまずいて赦せない心を洗い、傷ついた心をいやそうしています。このイエス様の愛をいただくよ。このイエス様の愛を受け取ろうよ。そうすると私たちの心に、愛が生まれてきます。一緒に祈って、イエス様の愛をいただきましょう。

教 師 ノ ー ト

日付	2012年 1月15日
単元	ヨハネの福音書・2
テーマ	心からの献げもの
タイトル	ナルドの香油
テキスト	ヨハネ 12:1-8
参照箇所	マルコ 14:3-9、1サムエル16:7
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	マルコ 14:8
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	

□導入 興味を起す質問をしましょう。

みんなの宝物って何ですか？(子供達に、どんなものを大切にしているのか聞いてみるとよい。また、教師自身が大切にしているものとその理由を話してあげるとよいでしょう。)

大切なものをあげるとしたら、あなたなら誰にあげますか？ それは何故ですか？

□ポイント1 イエス様は再びラザロたちの所に行きました。(12:1)

イエス様は過ぎ越しの祭りの6日前に、よみがえらせたラザロ達の住むベタニヤに来られました。(過ぎ越し・・・出エジプト記12:1-14参照)イエス様が来られる事を知った町の人々は、イエス様をお迎えするパーティーを準備していました。あの、ラザロがよみがえったことを町の人たちは、みんな知っていましたので、イエス様は、ちょっとした有名人です。ラザロは、みんなと一緒にテーブルについていました。ラザロのお姉さんのマルタは、みんなの中でお手伝いをしていました。そして、もう一人、姉妹がいたはずです。マリヤですが、マリヤはどこに行ったのでしょうか？前にも、マリヤはお手伝いをしないでイエス様のお話を聞いていた事がありました。でも、イエス様の側にもいないようです。

□ポイント2 マリヤの行動は人々を驚かせました。

マリヤが何かをもって部屋に入ってきました。それはナルドという香油の壺でした。その香油は、とっても高価なものでした。その香油は約300gくらいありました。しかも純粋な香油です。最高級のものだったと思われる。

(だいたい10ヶ月分の給料ぐらいの値段のする・・・新改訳の脚注参照。また、1デナリが一日分の給料ともありますので、300日分の価値があると考えられますので、150-300万円ぐらいの価値のあるものだったと考えられます。)

(年齢が小さい子どもの場合はお金の価値がわからないので、お菓子やジュースがどのくらい買えるか、またはゲームがどれだけ買えるか等、子ども達が高価なものだとわかるようにしてあげましょう)

もしかすると、お嫁に行くときのために用意していたものかもしれません。聖書には、何も書かれていません。でも、マリヤにとっては特別なものだったと思います。マリヤはイエス様に近づくと、足元にひざまづき、香油をイエス様の足にかけ、自分の髪の毛できれいに拭き取ったのでした。部屋中にその香油のいい匂いがしたのです。

(ここはゆっくりと、情景を描きながら子ども達に話して下さい。教師自身が心を込めて、イエス様に香油を注いでいるように話しましょう)

マリヤは、イエス様のために何かしたいと思っていたのでしょう。それで、一生懸命考えて、イエス様に自分のもっている最高のものを献げることにしたのです。このことを覚えておいて下さいね!!

□ポイント3 ユダはマリヤの行動に不満でした。

マリヤの行動に、そこに来ていた人みんながびっくりしました。そりゃそうです。普通ならあり得ない事だからです。みんな心の中でいろいろ思っていたでしょう。そんな時に、イエス様の弟子のユダが声をあげました。「何故、この香油を売って貧しい人たちにあげなかったのか!」と。ユダの言っている事は、間違っていますか? いいえ、ユダの言っている事は間違っている訳ではありません。確かに、これを売って貧しい人たちにあげる事も、心からそれをしようとするなら良いのです。問題は、ユダの心が間違っているのです。実は、ユダは会計係でした。でも、そのお金をこっそり使っていたのです。ドロボウをしていたのです。それを誰にも言わないでいました。だから、自分のしていることをごまかそうと思って、マリヤを責めたのです。ユダは、イエス様がみんなの心の中まで全部知っておられるということに、気がつかなかったのですね。(マリヤのイエス様への思いと、ユダの偽善的な思いとを対比して下さい。)

□結論 イエス様は、マリヤの心と献げものを喜ばれました。

暗唱聖句を読み上げます

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

マリヤとユダの違いはなんでしょう? それは、心が違うのです。

マリヤは、イエス様に自分の持っている一番いいものを献げたのですが、ユダは自分の悪い心をごまかすために、さも自分の発言が正しい事のように言っただけでした。

みなさんの中にもユダのような心はありませんか?

そういう心になることもありますね。

(ここでは、子ども達の中にもユダのような心になることがあることを認めてあげましょう。認めた上で、イエス様に喜ばれる心について考えましょう)

でも、イエス様は、心から献げる人を喜んで下さいます。高価なものでなくてもいいのです。どんなにたくさん献金しても、聖書を読んでいても、教会の仕事をしていても、イエス様を愛する心で献げないなら、ユダと同じです。イエス様は私たちの心を見ておられます。cf. Iコリント13章参照、Iサムエル16:7

でも、わずかなものでも心を込めて献げるなら、それをイエス様は喜んでくださるのです。そして、あなた自身をイエス様に献げるなら、イエス様は喜んでたくさんの友だちがイエス様を信じるように用いて下さいます。

(もし、洗礼を受けていて什一献金をしていない子どもがいれば、すすめてみましょう。また、献身の決心を促してもいいでしょう。子ども達にとって大切なものをイエス様のために使うことの喜びを伝えましょう。)

もし、ユダのように自分をごまかすような心になった時には、イエス様に悔い改めの祈りをして、やりなおしましょう。心からイエス様を愛して献げる人になりましょう。

教 師 ノ ー ト

日付	2012年 1月22日
単元	ヨハネの福音書・2
テーマ	いつも一緒にいて下さる聖霊
タイトル	助け主
テキスト	ヨハネ 14:16-17、26、15:26、16:7-15
参照箇所	
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	ヨハネ 14:26
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	

□導入

みなさんは、大切な人がいなくなってしまうとわかったら、どんな気持ちになるでしょう?いつも一緒にいる人が、ある日からいなくなるって、とっても不安ですね。イエス様が、もうすぐ弟子たちの所からいなくなる少し前に、イエス様は弟子たちに大切な事をたくさんお話されました。その中で、イエス様が行ってしまってから、弟子たちが不安にならないようにイエス様の後に来て下さる方について話されました。

□ポイント1 もう一人の助け主が来られます

イエス様は、イエス様がいなくなった後、もう一人の助け主を送って下さると約束して下さいました。イエス様を信じた人の心に来て、私たちの心の中に住んで下さるのです。しかも、いつまでもずーっと一緒にいて下さるというのです。どんな時にも、どんな場所でも、いつも私たちと一緒にいて下さるのです。いつかいなくなってしまうのではなくて、ずーっといて下さるって嬉しいですね。しかも、皆さんが忘れてしまっているような時にも、離れないでいて下さるんです。ゼッタイに私たちを裏切らない方なのです。

この方は、「助け主」「真理の御霊」「聖霊」と呼ばれています。

□ポイント2 聖霊は、イエス様について教えて下さいます。

聖霊は、イエス様を信じた私たちの心に住んで下さると言いましたね。姿が見えるわけでも声が聞こえるわけでもありません。それなのに聖霊は、私たちにイエス様について教えて下さいます。 どうしたらわかるのでしょうか?

みなさんが、イエス様のことを考えていた時、聖書を読んでいた時、お祈りしていた時、イエス様について何か発見したことはありませんか?なんか、自分が気づいたように思っているかもしれませんが、実は心に住んでいて下さる聖霊が、私たちに気づかせてくださっているのです。また、毎週暗唱聖句を覚えるでしょう?「こんなの覚えても無駄だ」と思っている人がいるかもしれません。でも、みなさんの覚えた暗唱聖句は、心の引き出しにしまわれて、必要な時に聖霊が心の引き出しから御言葉を思い出させて下さるって知っていますか?それだけではありません。イエス様のことを友だちに話す勇氣と力を下さるのです。

証 :小さいときから教会に来て、暗唱聖句を毎週覚えさせられていた男の子がいました。面倒くさいけれど、覚えないと教会の先生にもお母さんにも言われるので、毎週覚えていました。ある日、友だちにイエス様の話をしていると、聖書の御言葉がドンドン出て来て、なんとその友だちはイエス様を信じました。その子も、自分が今まで覚えて来た暗唱聖句が、心の引き出しから御言葉が出て来て、驚いたそうです。

(この他、教師自身の証などあれば、いいと思います)

□ポイント3 聖霊は私たちに罪について教えて下さいます

聖霊は、私たちが正しくない心の状態も教えて下さいます。悪口、憎しみ、ねたみ、盗み、親に反抗するなどは、神様からではなく罪からです。聖書には、イエス様を信じない事から始まっていると書かれています。本当にその通りです。私たちが、何が正しい事で何が間違っているのかがわからなくなってしまったのです。聖霊は、私たちがイエス様のお心がわかるように、そして聖書に書かれていることや書かれていない事で何が正しくて、何が正しくない事かを教えてくださるのです。

今まで、罪によって間違っていたことがたくさんあります。たとえば・・・「赤信号、みんなで渡れば怖くない」・・・やってはいけないことでも、みんながやっていたらOKということですね。これはどうでしょうね。「見つからなければ、何をしてもいいじゃないか」・・・そうですか？

聖霊は、神様のお心が正しく理解できるようにして下さるのです。また、罪の結果がどのようなものかも、教えて下さるのです。悪い事をすれば、お父さんやお母さんにしかられるでしょう？ 神様も、同じです。神様を無視して自分勝手なことをしていれば、きちんとお裁きになるのです。そうならないために、いろいろな方法で私たちに教え、導いてくださるのです。

(ここでは、裁きについてはあまり強調していません。子ども達によっては、「怖い」と感覚的に恐怖心を持つ場合があるので気をつけて下さい。でも、罪の結果、神様の裁きがあるということは、きちんと語りましょう。子ども達が、聞きたいと願えば、罪の結果として永遠の苦しみがある事を話してもいいでしょう。)

結論 聖霊は私たちの心に住み、私たちに導いて下さいます

暗唱聖句を読み上げます

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

イエス様を信じている私たちの心には聖霊がいて下さいます。目に見えないから、不安に思うかもしれませんがね。目に見えたらいいと思いますよね。でも、聖霊は見えなくてもあなたの側にいて下さいます。だから、怖がることなんてありません。たとえ、目では見えなくても、声が聞こえなくても、イエス様を信じるあなたの心に住み続けて下さいます。そして、私たちがイエス様に従って行けるように助け、導き続けて下さるのです。聖霊は、あなたの全部を知っておられますから、ごまかそうとしてもだめです。ちゃんと間違っていると教えて下さいます。でも、あなたの心の痛みも悲しみも全部しっていて下さいます。聖霊は、「なぐさめ主」でもあります。あなたの悲しみを全部包んで下さいます。また、聖霊はイエス様の事を話す「勇気」も下さいます。

だから、暗唱聖句もたくさん覚えましょう。いつも、お祈りしながら聖霊が心に話して下さることを、心の耳で聞きましょう。

(聖霊が共にいて下さることの教師自身の証があれば、ぜひ子ども達に話してあげて下さい。)

教 師 ノ ー ト

日付	2012年 1月29日
単元	ヨハネの福音書・2
テーマ	イエス様に繋がる
タイトル	まことのぶどうの木
テキスト	ヨハネ 15:1-17
参照箇所	
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	ヨハネ 15:5
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	

□導入

みなさんは、ブドウが好きですか?ブドウ狩りに行った事がありますか?(できれば、ブドウ畑の写真や絵等があればよいと思います。)ブドウは、枝を長く延ばして、実がたくさん実って、私たちは美味しいブドウを食べる事ができるのです。実がなるというのは、その木が生きている証拠です。

□ポイント1 イエス様は、まことのぶどうの木です

イエス様は、お弟子さん達に「わたしはまことのぶどうの木です。」と言われました。「わたし」とはイエス様のことです。イエス様がぶどうの木だということです。そして「あなたがたは枝です」とイエス様は言われました。枝は、自分では生きる事はできません。枝だけが宙に浮いて果物が出来ている・・・なんて、ありえないでしょう?枝はいのちのある木につながって、養分をもらってはじめてその枝は生きるのです。イエス様という木は、とても良い木です。それは、たくさんの実を実らせる事が出来る、いのちのある木だからです。

☆ではイエス様につながるってどういうことだと思いますか?

□ポイント2 イエス様につながるとは、イエス様の言葉につながる事です

イエス様につながっている人は、イエス様の言われた言葉を無視しません。イエス様の言われた言葉を大切にせずには居ません。そしてイエス様の言葉に従って祈り求めるなら、それは与えられるって約束されているのです。私たちの願うことが何でもかなうのではなくて、イエス様の言葉である聖書を信じて、イエス様の心と1つになって祈り求めたら、それは与えられます。

例)先生は、どうしても好きになれない人がいました。その人と仲良くしたくなかったのですが、そういうわけにもいかないし、仲良くできなかったことがしんどくなってきました。そんな時、イエス様の言葉に「早く仲直りをしなさい」(マタイ 5:25)あるのを思い出しました。そこでイエス様に「自分には仲直りする勇気がありません。でもイエス様、あなたは『仲直りしなさい』と勧めています。どうぞその力、勇気を下さい」と祈り続けました。するとある日、ちょっとしたきっかけだったんだけど自分の方から「ごめんなあ」と言えて、仲直りすることができました!イエス様の言葉につながって、祈り求めたら、その通りになったんです。

□ポイント3 イエス様につながるとは、イエス様の愛につながる事です

そして次にイエス様につながるとは、イエス様の愛につながる事です。イエス様がいのちをかけてあなたを愛して下さいように、あなたの隣の人もいのちをかけて愛しておられるのです。イエス様にとっては、あなたの隣にいる人も大切な人なのです。イエス様を信じている人同士が、お互いに傷つけ合うことは、イエス様を傷つけることです。イエス様が、私たちの罪のために十字架にかかってくださって傷だらけになられたのに、またイエ

ス様を傷だらけにするのですか？ 本当に悲しい事です。イエス様は、「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい」と言われました。今日、ここにきている友だちはもちろん、休んでいる人たちともイエス様の愛で、お互いを大切にしましょう。

(たぶん「イエス様はあなたを愛しています」と言うのが恥ずかしい学年もあると思いますが、「イエス様は〇〇さん(くん)を愛しています」とお互いに言い合ひましょう。言葉に出して言う事は、大切な事です。ただし、女の子同士、男の子同士がいいでしょう。)

例) イスラエルのある地中海の地方は、ぶどうがたくさん採れるそうです。日本では秋に柿が実ります。みんなもよく知っているように、柿には渋柿と甘い柿があります。本当は渋い実しかない枝でも、甘い実を实らせる木に接ぎ木をすると、甘い実がなるというから不思議です！(実際は柿にも雄や雌があり、いろいろと接ぎ木はややこしそうですが、ここではちょっと単純化しています)私たちの愛は、機嫌が良い時は愛したり、愛してくれたら愛するとか、渋柿のようなものでしょう。でもイエス様にしっかりと接ぎ木されると、イエス様の愛は本物だからその愛で周りの人を愛していけるのです。

□結論 イエス様に繋がると、あなたも他の人も豊かになるのです

暗唱聖句を読み上げます

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

私たちの周りでは、いろいろな事を言う人たちがいます。占いやおまじないや習慣などで決めようとする人たちがいます。でも、イエス様にしっかりとつながることが大切です。イエス様の言葉を信じて祈り求めたものは、いつまでも残る実となります。イエス様の愛で愛し合う愛は、気まぐれや一時だけのものではなく、いつまでも残る愛の実を結びます。